

第 3 2 回例会報告 (2月19日)

【 出席 報 告 】

・ 会員数 63名 ・ 出席数 43名 ・ 欠席数 20名
 ・ 当日出席率 77.78% ・ 前々回修正出席率 100% 20回目
 < 欠席会員 > 平尾、門田、笠間、川上、黒川、尾越、大澤、佐々木、白石(天)、竹田、寺町、八木
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、中川、坂本、瀬野、宇高、吉田
 < 2 / 5 欠席補填 > (1/26松山北)竹田、(1/31 I M) 飯、西本、越智(務)、(2/5新橋)八木、
 (2/5職業奉仕)白石(天)、(2/6道後)青野、(2/9今治北)板脇、野間、田中、
 (2/16今治北)原田、檜垣(圭)

会長報告・曾我部照雄会員から退会届が提出され、理事会で受理しました。
 ・ 今治1.17実行委員会より「1.17K O B E に灯りを」のお礼状を頂いています。
 国際奉仕委員会報告 / 西信正男委員長・書き損じ葉書回収協力の募金をお願いします。

ロータリー創立記念例会

渡邊一志会長 1905年2月23日、ポール・ハリ
 スと3人の仲間がロータリーは作られた。1929年5
 月、ダラスの国際会議で創立記念日が決議された。
 定款第12条第4節“ロータリーの発祥を記念して”
 の項で「創立記念日2月23日の週は世界理解と平和
 週間と呼称する。この1週間は、本クラブはロータ
 リーの奉仕活動を祝い、これまでの業績を振り返り
 地域内と世界中で平和、理解、親善のためのプログラ
 ムに重点を置く。」とされている。
 先日の I M で印象に残ったのは「ロータリーを一言で表すと？」という質問に対する飯会
 員の“異種理解”との返答。「多種多様のトップの方がひとつに会し、お互いの理解を深
 めながら集われる会」すなわち“異種理解”である。心にしっかり留めておきたい。いろ
 いろな方といろいろな所で出会いお互いの理解を深めそれを地域や会社で還元し、家庭で
 も仲睦まじく幸せに過ごす。これがロータリーの真髄ではないかと思う。「松は古今に色
 なし。竹は上下に節あり。梅は馥郁として春に香る。」という言葉があるが、常に原点を
 忘れず心はいつも同じでありたい。“よそいき”“普段着”“寝巻き”を使い分け礼節を重
 んじ、そこに笑顔で座っているだけで幸せになり、安心を与えるような人間にならねばと
 思っている。皆様方の生涯現役でのご健勝をお祈り致します。



飯忠悟会員 ロータリーは来年で100周年だが、その年に今治 R C は70周年を迎える。
 以前「岐路に立つロータリー」という記事で“あまりにも拡大を続けたが故にロータリー
 は逆に衰退しているのではないか。ルール、定款、会則を変更していらぬ拡大を続け
 ればそうなるであろう。”と、いろいろな R C の例を掲げながら書かれていたのをおもし
 ろく読ませてもらった。現在「会員数の減少」が他クラブから大きな問題として挙げられ
 ているが、わがクラブは増加の方向で進んでいる。それは「こうでなければならぬ」と
 押し付けることをしなかった歴代会長はじめ親睦活動委員長他皆さんのクラブ運営方法が
 良かったのではないだろうか。転勤や定年ですでに退会した会員までが、ゴルフや送別会
 に出席されるクラブなどわがクラブの他にあるだろうか。これは今治 R C がいかに素晴ら
 しいかという証だと私は思っている。今さらロータリーの歴史や定義をお話しするまでも
 なく、経験の中で皆さんがロータリーを咀嚼し、一人一人の形態の中で発展させ、友愛の
 輪の中でその原動力を作っていただきたいと思います。

< 来訪ロータリアン > 今治南 R C ; 戒田淳氏

次回例会 (2月26日)

[外部卓話] 今治地区事務組合消防本部
 消防長 消防監 村上秀次郎氏 「消防防災について」

< 会員誕生日 > 中川 嘉明氏 (3 / 2)
 < 夫人誕生日 > 玉井 英俊氏 (2 / 27) 笠間 徹也氏 (3 / 3)
 < 入会記念日 > 宮本 哲夫氏 (2 / 27) 笠間 徹也氏 (2 / 28)
 西信 正男氏 (3 / 2)

[献立 ; 健寿司]